

二条城 ▶ 西陣 ▶ 壬生界限

阪急京都線 大宮駅	67・101系統(二条城前下車) 市バス四条堀川停(9:12・50)	1 越前福井藩邸跡碑 徒歩 ▶ 5分	2 二条城 徒歩 ▶ 13分	3 松林寺(やす寺) 徒歩 ▶ 12分	4 浄福寺 徒歩 ▶ 15分	5 浄円寺 徒歩 ▶ すぐ	6 教善寺 徒歩 ▶ 7分	7 竹林寺 徒歩 ▶ 23分	8 西町奉行所跡碑 徒歩 ▶ 5分	9 東町奉行所跡碑 徒歩 ▶ 3分	10 若狭小浜藩邸跡碑 徒歩 ▶ 4分	11 二條陣屋(小川家住宅) 徒歩 ▶ 7分	12 六角獄舎跡 徒歩 ▶ 8分	阪急京都線 大宮駅
-----------	------------------------------------	--------------------	----------------	---------------------	----------------	---------------	---------------	----------------	-------------------	-------------------	---------------------	------------------------	------------------	-----------



幕末を語るうえで、大政奉還という政権返上を行った二条城は大きな意味を持つ。二条城周辺は、京都所司代、東西の奉行所などの官庁と親藩・譜代の大名藩邸が並ぶ幕府側の屋敷街であった。少し南に下れば六角通にあった牢屋敷の六角獄舎や新選組の本拠地もあり、幕府側の史跡が多い。平成六年、世界文化遺産に登録された二条城の桃山美術の粋を集めた狩野派の障壁画や二の丸御殿庭園など、当時を偲ばせる国宝、重要文化財も見ることができる。時期によってはライトアップもあり、幻想的な雰囲気の中で幕末の歴史に触れてみてはいかがでしょう。

1 越前福井藩邸跡碑



家格は、徳川の親藩・御家門で松平家。幕末政治の改革、公武合体運動の活動拠点として大きな役割を果たす。1863(文久3)年頃、龍馬は松平春嶽に神戸海軍操練所設立資金援助のために福井に赴く。

2 二条城

大政奉還が行われた場所。大政奉還を実現させるために龍馬はシナリオを書き、後藤象二郎が奔走し、その書状を将軍に届けることができた。龍馬と慶喜の考えが一致し、浪人にすぎない龍馬が将軍慶喜を動かした。

3 松林寺(やす寺)

近江屋で龍馬を暗殺したと伝えられる京都見廻組の与頭、佐々木只三郎が寓居していた場所。見廻組は1864(元治元)年に幕府によって結成された、御所や二条城を担当する京都治安維持の組織である。

5 浄円寺

旅宿池田屋の主人入江(池田屋)惣兵衛の墓があるお寺。1864(元治元)年6月5日に新選組の手入れの際、惣兵衛は大声で2階に知らせたが斬り合いとなる。翌日、捕らえられ入獄し牢内で病死する。



浄円寺

6 教善寺

龍馬暗殺に加わった見廻組隊士渡辺篤の墓がある。鳥羽伏見の戦いで敗走し、江戸に赴き、剣術教師を経て73歳で没する。



7 竹林寺

平野国臣以下37士の墓がある寺。1877(明治10)年に幕末のお土居西仕置場から姓名を朱書した瓦片とともに骨が発掘された。



10 若狭小浜藩邸跡碑

京都所司代を12年間務めた小浜藩主 酒井忠義の邸跡である。15代将軍になる徳川慶喜も1863(文久3)年12月から1867(慶応3)年9月の二条城に入るまで使用していた。



若狭小浜藩邸跡碑

12 六角獄舎跡

多くの志士が新選組などに捕らえられ取容された。罪の有無の判決を待つことなく斬首された場所でもある。また、医師山脇東洋がわが国で始めて死体解剖を行った所としても知られている。

